

平成29年度 JERT 主催「救急撮影講習会 in 京都」 参加報告記

京都中部総合医療センター 放射線科 塩貝 光司

平成 30 年 2 月 10 日、京都府立医科大学で開催された「救急撮影講習会 in 京都」に参加してきました。プログラムをみると感染に関する公演に始まり、臨床工学技士が取り扱う医療機器、CT、MRI、HYBRID ER まで過去に私が参加した中では最も沢山のカテゴリーを取り入れられていた講習会でした。

私は日常 MRI に従事している事もありプログラムの「救急・循環器領域で使用される ME 機器」、「ちょっと知りたい？救急業務における MRI」は特に興味深く、2 題の公演を通じて救急 MRI を安全に施行する為に必要な知識、整えなければならない環境について学習できました。

埋め込み式ペースメーカー患者を撮像する機会は稀にあり、当院では医師と臨床工学技士立会いの下で施行しているためどこか安心して撮像していました。しかし、今回の講演を聞いて心室細動などの重篤なアクシデントが起こる可能性があり、モニターや患者状態に細心の注意を払って撮影を行う必要があることを改めて学習できました。救急 MRI の撮像を行うにあたっては吸着事故を起こさないための環境づくり、臨床知識においては翌日からの業務に活かせる内容となっており安全性と画質の向上において非常に有意義な講演をして頂きました。

今回の講習会に参加したことで他職種業務への理解を深めることが出来ました。今後も他職種業務に対する知識を増やして診療放射線技師が放射線業務以外でも当たり前チーム医療の一員となれるよう努めていきたいと思えます。最後に講習会を開催していただいた日本救急撮影技師認定機構の皆様並びに講師、実行委員の皆様には感謝を申し上げます。

平成 30 年 3 月吉日

